

工事のすすめ方

工事に際しての 基本方針

- 1.無事故・無災害の現場を目指します。
- 2.環境負荷を極力抑制します。
- 3.交通安全に努めます。

私たちは3つの工事を 行います

1.杭工事(本年8月~12月頃予定)

地面に円柱状の穴を掘った後に鉄筋を入れ、コンクリートを流し込み、約360本(直径1.5m、長さ約35m)の杭を作ります。

現状の現場風景



2.基礎版工事

(本年10月~平成23年4月頃予定)

鉄筋を組んだ後、型枠にコンクリートを流し込み、厚さ2.5mの基礎版を作ります。

杭工事のようす



3.上屋工事

(平成23年3月~平成24年6月頃予定)

鉄骨や鉄筋で骨組みを組んだ後に、型枠にコンクリートを流し込み、最大で厚さ1.5mの壁や屋根を作ります。

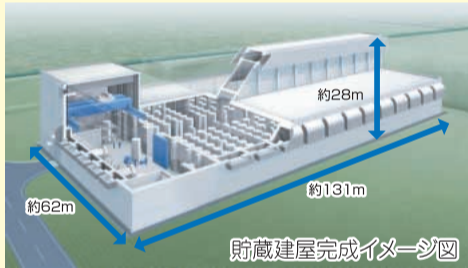


写真:工事開始の合図(取締役社長 久保誠)

News Flash

「リサイクル燃料備蓄センター」
貯蔵建屋工事 着工
平成22年8月31日工事が始まりました。

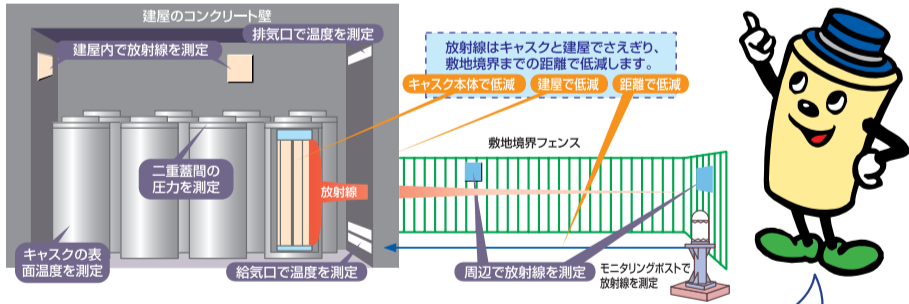
弊社では「リサイクル燃料備蓄センター」について、平成22年5月13日に経済産業大臣より事業許可、8月27日に設計及び工事の方法の認可をいただき、8月31日に工事を開始することができました。今後、計画どおり平成24年7月の事業開始に向け、社員一丸となって無事故・無災害で工事を進めてまいります。地域の皆さまには、引き続き弊社事業へのご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。



リサイクル燃料備蓄センター 完成イメージ図



よくわかる R E N 放射線の影響はないの?



キャスクの保管中は、一日中見張っているんだけど、特に放射線はキャスクや建物でしゃへいして低減させ、更に境界のフェンスまでの距離で低減するんだ。だから施設の外側では、自然界のレベルとほとんど同じ位の放射量になっているんだよ。

お知らせ

第2回むつデジタル映像フェスティバル開催

●日時:2010.11/12[fri]~11/14[sun]
※詳しくは、裏面をご覧ください。

◆工事の進捗状況や国への申請などの情報については、
ホームページにて公開いたします。
ホームページ <http://www.rfSCO.co.jp>

地域イベントへの参加

弊社では、地域行事やイベントに積極的に参加し、地域の皆さまとのふれあいを通して、相互理解に努めてまいりたいと考えております。
※ここでは、その一部(8月から11月)を紹介したいと思います。

☆大畑ふるさと祭り☆

日にち/8月15日(日)

多くの子ども達がゲームを楽しんでくれました。



☆みこし祭り☆

日にち/8月19日(木)

イベント広場からスタートし、「ワッショイ!ワッショイ!」とみんなで力を合わせて頑張りました。



☆産業祭り☆

日にち/10月16日(土)・17日(日)

むつ来さい館・まさかりプラザ・イベント広場で行われました。



